

平成30年度 全日本学生柔道優勝大会(男子67回 女子27回) 大会要項

1. 大会名 平成30年度 全日本学生柔道優勝大会(男子67回 女子27回)
2. 主催 (一社)全日本学生柔道連盟、毎日新聞社
3. 主管 東京学生柔道連盟
4. 後援 スポーツ庁、東京都、(公財)日本武道館、(公財)講道館、(公財)全日本柔道連盟、(公財)東京都柔道連盟
5. 期間 平成30年6月23日(土) 女子3人制、女子5人制、男子1回戦
開場：午前8時00分 開会式(男女同時開催)：午前9時00分 試合開始：午前9時30分
平成30年6月24日(日) 男子2回戦～決勝戦
開場：午前8時00分 試合開始：午前9時00分
6. 会場 日本武道館 東京都千代田区北の丸公園2-3
7. 競技規則
 - (1) 参加資格
 - ①(一社)全日本学生柔道連盟の法人正会員たる柔道部の在籍者であり、かつ、(公財)全日本柔道連盟に登録した者。
 - ②国公立大学又は短期大学などに在籍の学生。
 - ③各地区学生柔道連盟から推薦された大学。
 - ④在学中、実業団その他の職域チームに属している者は、その大会(試合)に出場していない者。
 - ⑤本大会への選手登録回数が今年度を含め4回以下の者(但し、医学部、歯学部、薬学部、獣医学部の学生は今年度を含め6回以下の者)。
 - ⑥2年次においては1年次の修得単位が20単位以上の者。3年次においては1年次及び2年次の総修得単位が40単位以上の者。4年次においては1年次、2年次及び3年次の総取得単位が70単位以上の者。但し、特例措置対象者を除く。(別紙参照)
 - (2) チーム編成
 - ①男子：各大学1チームとし、部長、監督、コーチ、主務各1名と、選手12名の計16名以内とする。
 - ②女子：5人制は、各大学1チームとし、部長、監督、コーチ、主務各1名と選手57kg以下3名、70kg以下3名(57kg以下申込可)、無差別2名の計12名以内とする。
3人制は、各大学1チームとし、部長、監督、コーチ、主務各1名と選手6名の計10名以内とする。
 - (3) コーチ資格
選手席に帯同する部長・監督・コーチいずれかの者は、(公財)全日本柔道連盟公認指導者資格のA指導員資格もしくはB指導員資格を有していなければならない。
 - (4) 試合方法
 - ①男子：試合は各チーム7名の点取り式によるトーナメント戦とし、各試合の選手選出・配列は自由とする。
 - ②女子5人制：5名の点取り式によるトーナメント戦とし、各試合の選手の配列については、先鋒・次鋒は57kg以下、中堅・副将は70kg以下、大将は無差別とし、その各カテゴリー内での選手選出は自由とする。
 - ③女子3人制：3名の点取り式によるトーナメント戦とし、各試合の選手選出・配列は自由とする。
 - ④1回戦の選手オーダー票は、男子・女子ともに23日(土)午前8時20分までに選手オーダー受付に提出すること。また、男子2回戦の選手オーダー票は、24日(日)の午前8時20分までに選手オーダー受付に提出すること。
女子2回戦、男子3回戦以降の選手オーダー票は、対戦大学決定後5分以内に選手オーダー受付に提出すること。
なお、5分以上経過して選手オーダー票が未提出の場合は、自動的に前回戦の選手オーダーと同様とする。
 - (5) 審判規定
 - ①(公財)全日本柔道連盟の定める国際柔道連盟試合審判規定の団体戦の勝敗決定方法を準用する。なお、試合運営上、審判員は4審制(ジュリーを含む)とする。
 - ②判定基準は、「技あり」以上、または「反則負け」とする。
 - ③勝敗の決定は、勝者の多い方を勝ちとする。また、勝者同数の場合は、内容差で決定する。前述の全てにおいて同一の場合は、次のとおりとする。
男子および女子3人制は、各大学1名の代表選手を選出し、4分間の代表戦を行う。4分間で勝敗が決しない場合は、ゴールデンスコアにより勝敗を決する。
また、上記代表戦において両者反則負け等で勝敗がつかなかった場合は、再度他の代表選手を選出し、代表戦を行う。

女子5人制は、「引き分け」の階級の中から抽選で代表選手を選出し、ゴールデンスコアにより代表戦を行う。

また、上記代表戦において両者反則負け等で勝敗がつかなかった場合は、再度抽選により他の階級から代表選手を選出する。

なお、引き分けの階級がない場合は、両者反則負け等で勝敗が決していない階級の中から代表選手を選出する。

※上記代表戦は、スコアをリセットして行う。

(6) 柔道衣

本大会で着用する柔道衣は、(公財)全日本柔道連盟の柔道衣規定に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)とする。(別紙参照)なお、柔道衣の規格については、厳守しなければならない。

※今年度は、「青ラベル」の柔道衣は着用可とする。

※本大会は、「青柔道衣」を採用する。また女子の帯は白線なしの黒帯とする。(別紙参照)

(7) ゼッケン

本大会に出場する選手は、必ず所定のゼッケンを柔道衣につけること。(別紙参照)

8. 各地区出場枠

＜男子＞ 本大会の総出場大学数は62大学とし、各地区の出場大学数は次の通りとする。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
4	4	4	10	19	4	8	4	5	62

＜女子＞ 本大会の総出場大学数は64大学とし、各地区の出場大学数は次の通りとする。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
4	4	4	12	13	5	8	6	6	62+2

※上記の各地区出場大学数は5人制、3人制のトータル数とし、その出場数の配分は各地区学生柔道連盟にて決定する。

※但し、5人制、3人制ともに前年度優勝大学は主催者推薦大学とし、各地区出場枠外とする。

9. 選手計量

女子5人制出場大学の先鋒・次鋒・中堅・副将の出場選手は、試合前日に計量を行う。

日時：平成30年6月22日(金) 予備計量 午後3時30分～4時00分 本計量 午後4時00分～4時30分

会場：講道館6階 国際部道場

10. 表彰

＜男子＞ (1) 優勝大学、準優勝大学、第3位大学(2大学)、並びにベスト8大学を表彰する。

(2) 優勝大学には「文部科学大臣賞」並びに「日本武道館賞」を授与する。

(3) 技術優秀なる選手10名に「優秀選手賞」を授与する。

＜女子＞ (1) 5人制・3人制ともに、優勝大学、準優勝大学、第3位大学(2大学)を表彰する。

(2) 5人制・3人制ともに、技術優秀なる選手4名に「優秀選手賞」を授与する。

11. 優秀選手選考委員

優秀選手選考委員は、各地区の学生柔道連盟より1名を選出する(原則として(一社)全日本学生柔道連盟理事とする)。

12. 審判員

審判員数の総数は54名とし、各地区の学生柔道連盟は下記人数の審判員を帯同することとする。

[(公財)全日本柔道連盟派遣審判員6名以内(審判長含む)、東京19名、関東12名、関西10名、北信越3名、北海道・東北・東海、中国四国・九州は各2名]

13. 参加申込

(1) 申込先

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内 東京学生柔道連盟

TEL 03-3213-7106 FAX 03-3287-3282

(2) 申込方法

参加申込責任者は各大学監督とし、WEBにて申し込みを行うこと。また、各地区学生柔道連盟は、下記の書類をまとめて主管事務局へ郵送すること。(P.15参照)

①参加選手の在学証明書・健康診断書(地区予選に登録されなかった選手のみ)

※但し、本年度においては1年生のみ在学証明書の提出を行うこと。

②プログラム掲載用写真については別紙を参照。

③IDカードについては別紙を参照。

(3) 申込期間

WEB申込期間 平成30年5月28日(月)～5月30日(水)

書類郵送期日 平成30年6月1日(金)午後5時必着

(4) 参加費 男子 - 1大学30,000円

女子 - 5人制出場大学：1大学20,000円、3人制出場大学：1大学15,000円

※各地区学生柔道連盟がその地区出場大学の参加費を取りまとめ、5月30日(水)正午までに下記口座へ振り込むこと。参加費の振り込みが確認できない場合は、本大会への出場を認めない。**参加費は各地区連盟の指定先へ振り込むこと。**

＜振込先＞ 三井住友銀行 小石川支店(813) 普通428679 (一社)全日本学生柔道連盟 会長 沖永 佳史

(5) 選手変更

女子5人制においては、6月14日(木)午後5時までに、必要書類を添えて主管事務局まで提出した選手の変更を認める。但し、階級間の移動は認められない。

※必要書類とは、変更用紙、変更前選手の辞退理由書(怪我・病気の場合は診断書も添付)

と変更選手の在学証明書(1年生のみ提出)、健康診断書、IDカード用写真とする。

14. 組み合わせ 本大会組み合わせ抽選会は、(一社)全日本学生柔道連盟役員立ち合いのもと、東京学生柔道連盟により行う。

日時：平成30年6月9日(土) 時間：午前10時00分～

会場：講道館新館2階教室 シード大学：シード基準は別紙による

15. 審判員会議 日時：平成30年6月22日(金) 時間：午後4時00分～ 会場：講道館内

16. 審判員集合 日時：平成30年6月23日(土) 時間：午前8時30分

17. 監督会議 日時：平成30年6月22日(金) 時間：午後5時30分～ 会場：講道館内

※監督会議では、大会上の注意事項についての伝達や、IDカード、プログラム等の配布を行うので、申込時に登録した部長、監督、コーチのいずれか1名が出席すること。

上記の者が出席できない場合は、委任状(P.36)を提出すること。(学生に対する委任は不可)

なお、無断欠席した場合は大会への出場が認められないことがあるので注意すること。

また、参加人数は各大学1名とする。

18. 安全対策 本大会主催者は、大会出場選手に対する傷害保険に必ず加入するとともに、救急指定病院の手配を行う。

また、試合場に医師を配置し、必要に応じて応急処置を施すが、それ以上の責任は負わない。

なお、大会当日、出場選手は必ず保険証を持参すること。(コピーの保険証は不可)

19. 練習会場 講道館にて6月22日(金)午後1時～4時、23日(土)午前10時～午後4時までの間練習を行うことができる。

上記練習会場での練習を希望する大学は、別紙所定の用紙にて6月4日(月)午後5時までに主管事務局である東京学生柔道連盟へ申し込むこと。

※事前申し込みのない大学の選手は上記練習会場の利用はできない。

20. 大会事務局 主催事務局 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館内 (一社)全日本学生柔道連盟
TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960

主管事務局 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内 東京学生柔道連盟
TEL 03-3213-7106 FAX 03-3287-3282

※質問・問い合わせ等は、すべて主管事務局である東京学生柔道連盟に行うこと。

21. その他

- (1) 脳振盪の対応について

選手及び指導者は下記事項を遵守すること。

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局及び(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

- (2) 皮膚真菌症について

皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。

感染が疑わしい、もしくは感染が認められた選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。

選手に皮膚真菌症の感染が認められた場合は、その選手の本大会への出場を禁止する。但し、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める。

- (3) 採用試験における計量時間の延長について

原則として、採用試験等において正規の公式計量の時刻に間に合わない場合、6月20日(水)までに主管事務局まで必要書類を提出することにより、計量時間の延長(1時間)が認められる。

※必要書類とは、採用試験を実施する機関からの通知文のコピー等をいう。

- (4) 個人情報取り扱いについて

①WEBでの申込に記載された個人情報、大会中に撮影された写真、または動画が、大会プログラム、大会ホームページ等に掲載される場合があります。また、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビ及び関連ホームページ等に公開される場合があります。

②提出された個人情報については、上記の利用目的以外に使用することはありません。

③WEBでの申し込みをもって、上記(4)の①、②の取り扱いに関する承諾を得たものとして対応をさせていただきます。

※個人情報取り扱いについて不明な点等がある場合は、(一社)全日本学生柔道連盟事務局にお問い合わせください。

以上